

「31年ぶりの日本武道館公演」(船越)

9月22日の秋分の日、クイーン(イギリスのロックバンド)の日本武道館公演に一人で行って来ました。行けなくなった人からチケットが回ってきて、急遽行くことになったのですが、席は二階席のステージ向かって真左の最上段の一席前という隅っこでした。さすがにクイーン、私の両サイドは、おひとりで来られてる私と同年代位のご婦人、前の席も同じ年くらいの夫婦連れという世代構成でした。でも約二時間半、皆さんほぼ立ちっぱなしという感じでしたが、私は体力面を考慮して、適当に座ってました。翌日はロームシアター京都で日本税理士会連合会の研修会があったのですが、受付には間に合わず、レジュメだけいただいたようなことと相成りました。



今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：地域おこし協力隊】

人口減少や高齢化が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらいながら定住を促進する制度。2009年に総務省によって制度化され、2015年度には全国の自治体で約2600名が活動している。地方での暮らしや社会貢献といった都市住民のニーズに応えながら地方の地域力の維持を目指す制度だが、生活費や住居が供される3年間の任期を経た後の定住率など運用面での課題も生じている。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【決断力、行動力、責任感の人：田中角栄】

昭和の大政治家・田中角栄は1918年、新潟県柏崎市に生まれました。「途方もない記憶力」と称賛された角栄ですが、父の事業失敗により進学を断念。尋常小学校を卒業すると上京し、土木工事の現場で働きながら土木科の夜間部に学び、設計事務所に就職します。19歳にして共栄建築事務所を設立、24歳で結婚、そして田中土建工業株式会社を設立します。この頃、新興財閥の総帥に才を見出され、その関連会社の仕事を請け負って会社は急成長、青年政治家となるための基盤を整えます。28歳で衆議院総選挙に出馬するも落選、この時に抽象論や理想論よりも「具体的に何をどう変えるかが重要だ」と痛感します。翌年の衆議院総選挙に新潟県第3区から出馬した折には「新潟と群馬の県境にある三国峠を切り崩してしまえば、日本海からの季節風は太平洋側に抜けて、越後には雪は降らない。大雪に苦しむことはなくなるのです。切り崩した土砂は日本海へ持っていく。日本海を埋め立てて新潟と佐渡を陸続きにしてしまえばいい」という演説を各地で行い初当選を果たします。その後、議員立法による33件もの法律を成立、日本列島改造論、日中国交正常化、ロッキード事件と日本社会に大きな影響を及ぼしました。没後20年以上を経た今、その素早い決断力や圧倒的な行動力、常に責任を取る胆力が注目されています。

今を生きる
先人の言葉

自分が立っている所を
深く掘れ。そこから
きくと泉が湧きでる

明治時代の文芸評論家である高山樗牛(ちよぎゆう)の言葉。隣の芝生に目移りすることなく、自分が信じた道を自分のやり方で進むことが成功への近道である。

トレンドを斬る!

メモを挟むと三国志の英傑たちの吹き出しセリフに見えるメモスタンド『Emo-CLIP』が話題です。横山光輝が描く表情豊かな

キャラクターの絵柄は裏表で異なり、メッセージに喜怒哀楽の感情を与えます。現代のビジネス戦略や人心掌握にも通じる普遍性で社会人に人気の三国志ですが、1970年代に始まった全60巻に渡る単行本は学校の図書館などにも置かれるほど浸透しており、全8種類が入ったコンプリートBOXを大人買いするファンが多いのもうなずけます。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント: 【アホウドリに学ぶ商売の知恵】

「アホウドリ」という名前の鳥がいます。一説には、ほとんど人間と接触しないので警戒心が少なく、簡単に捕まえられるアホな鳥だからという不名誉な理由でその名が付いたそうです。ところが、アホウドリはとても賢い人生設計で生きています。野生のアホウドリの寿命は15年から20年。野鳥では異例の長生きです。



1年に1回だけ産卵し、1回の産卵では1個の卵しか産みません。産卵後はほぼ1年かけてひなをかえし、育てて教育します。ひなの育成には多くの時間がかかるので卵を産まない年もあります。子育てする場所は絶海の孤島。場所は限られている反面、哺乳類などの外敵が来ないので安全に子育てができます。外敵の少ない孤島で長生きして子どもを大切に育てる。これがアホウドリの人生設計です。己をよく知った上での見事なやり方ですね。

アメリカのミッドウェー環礁国立自然保護区には、特に賢いアホウドリが住んでいます。推定年齢65歳以上。確認されている限りでは世界最高齢の野鳥というだけでも大したものなのに、つい数年前にも産卵し、これまでに30羽以上のひなを育てあげたそうです。環境汚染などで生存環境が悪化する中、通常の3倍以上も生き続ける大ベテランのこのアホウドリを研究者たちは「ウイズダム(知恵)」と呼んでいるとか。肩書きが社長でも経営者にはなれません。経営者と呼ばれることはあっても、実際に経営ができなければニックネームと同じになってしまいます。「経営者の仕事はシミュレーションに尽きる」と言った人がいますが、確かに経営には知恵が必要です。ひょうひょうとしながらも商売がうまくいっているなら、その人は陰で何十回もシミュレーションをしてお金と人を動かしているのかもしれない。自分をよく知り、優先順位を的確に判断してシミュレーションを繰り返し、最善の策を取っていくのが経営だとすれば、アホウドリは立派な経営者です。経営者というニックネームに甘んじてはいけません。アホウドリに負けない商売設計で先へ先へと進んでいきたいものですね。



トナリの

本棚



【火の粉】

元裁判官・梶間の隣家に殺人事件の元被告人・武内が越してくる。彼に無罪判決を下した梶間は、親切を武器に近づいてくる武内にじわじわと恐怖を感じる。ある日、梶間の母親が死ぬ。本当に事故なのか? 心理サスペンスを堪能できる一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎